

授業科目名	授業担当者氏名	区分	単位	年間授業時間	受講学年	開講年次
西洋音楽概論	新垣 隆	選択 (選択必修)	1	15時間	1/2	毎年

■授業内容

《テーマ 「ソナタ形式」の誕生と死》

クラシック音楽とは何かという問いには様々な答えが考えられ得るが、ここでは「ソナタ形式というものを編み出し(てしまっ)たヨーロッパ文化」という見地から「西洋音楽史」の概観及び検証を試みる。

《学修目標》

この問い立ては19世紀近代の検証のひとつの方法として有効であり、それは取りも直さず現在の私たちの「市民社会」を照らし出すものである。各自のそれに対する回答のヒントの材料となれば、と思う。

◆第1回 (5/18 土 14:00~15:40)

「器」としてのソナタ形式ーロマン派①

- ・ショパン：ピアノソナタ 第3番 第1楽章 (1844)
- ・パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 第1楽章 (1826)

◆第2回 (6/22 土 14:00~15:40)

ソナタ形式の「成立」ー古典派

- ・モーツァルト：アダージョ (1788)
- ・ハイドン：ソナタ (1779)
- ・C.P.E バッハ：ソナタ (1744)
- ・バッハ：フランス組曲 (1720年代)

◆第3回 (7/6 土 14:00~15:40)

「器」としてのソナタ形式ーロマン派②

- ・ブラームス：交響曲 第2番 第2楽章 (1877)
- ・ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 第1楽章 (1895)
- ・チャイコフスキー 交響曲 第6番「悲愴」第1楽章 (1893)

◆第4回 (9/28 土 14:00~15:40)

ソナタ形式の「母胎」ーバロック

- ・バッハ：管弦楽組曲 (1720年代)

器が溶けはじめる時ーロマン派③

- ・シューベルト：交響曲 第8番「未完成」(1826)

◆第5回 (10/12 土 14:00~15:40)

器が溶けはじめる時—ロマン派④

- ・リスト：ピアノソナタ (1853)

「器」としてのソナタ形式—ロマン派以後

- ・ベルク：ピアノソナタ (1906)
- ・バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 第1楽章 (1938)

◆第6回 (11/30 土 14:00~15:40)

ソナタ形式の「崩壊」①

- ・マーラー：交響曲 第7番 第1楽章 (1907)

◆第7回 (12/6 金 19:00~20:40)

ソナタ形式の「崩壊」②

- ・マーラー：交響曲 第7番 全楽章

◆第8回 (1/18 土 14:00~15:40)

ドビュッシーの場合

- ・ドビュッシー：交響詩「海」(1905)

※ 成績は平常点(出席状況)とレポート等により評価する。
評価は「優」「良」「可」「不可」の表記とする。